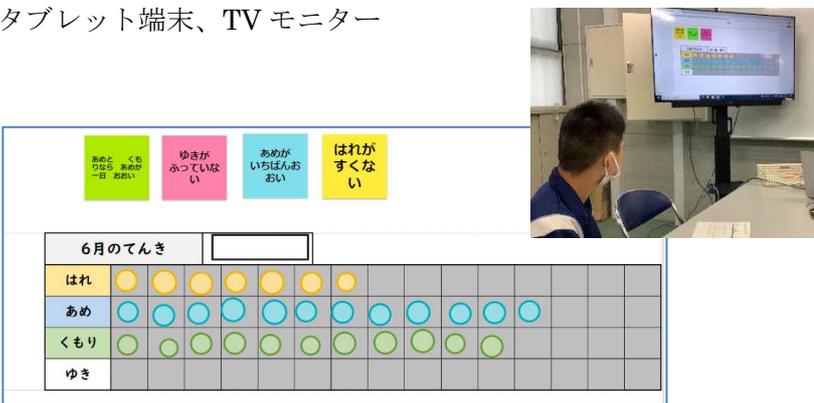


## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 数の多少を比べるための ICT 活用 「ホワイトボード機能を活用した比較」

|                                   |   |  |
|-----------------------------------|---|--|
| 子どもについて                           | 所属・学年   | 特別支援学校・小学部 6 年   |
|                                   | 障がい名等   | 知的障がい  |
|                                   | 子どもの実態<br>(学習上又は生活上の困難さ等)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「具体物や半具体物の多少の比較は得意だが、数字のみでの比較が苦手な児童」と「数の多少を、数字を見るだけで判断できる児童」が在籍している。</li> <li>・複数の項目を比較して多少を判断することが苦手である。</li> </ul>   |
| 授業について<br><br>(教材・教具を使用した授業や指導場面) | 教科名等  | 算数   |
|                                   | 単元(題材)名   | 単元名「表をつくってしらべよう」   |
|                                   | 単元(題材)の概要   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部 3 段階の表の学習。表の各行に並んだ○の数を比べることで多少を判断する。</li> </ul>  |
| 教材・教具<br>支援機器について                 | 教材・教具<br>支援機器   | タブレット端末、TV モニター<br>   |
|                                   | ねらい・工夫点   | 〈ねらい〉<br>○表に自分で入力してから、それぞれの項目の多少について対話的に考えられるようにする。<br>〈工夫点〉<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でタブレットの表に○を入力して天気の色で作成し、友達の表と比べられるようにする。</li> <li>・友達の表と見比べたり書き加えたりして対話的に学ぶことができるようにする。</li> <li>・児童から出てきた意見や感想等を付箋機能で書き出し、振り返りができるようにする。</li> </ul> |
|                                   | 材料・作成方法等  | タブレット端末、アプリ (Jamboard)   |
| 子どもの変容や評価                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が表の端に書き込んで強調させることで、表の長さを意識しながら「晴れは曇りより多いです。」等の読み取りができた。</li> <li>・項目ごとの差に注目し、「晴れは曇りよりも 2 日多いです。」等の読み取りができた児童もいた。</li> </ul> |  |